

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年12月8日（木）13：30～17：00

3. 場所：原子力規制庁 16階A会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田室長、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
濱口技術研究調査官、川口技術研究調査官、
藤本技術参与

システム安全研究部門 園田技術研究調査官

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他1名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他1名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他4名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 課長 他1名

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他5名

株式会社 原子力エンジニアリング 解析サービス本部

リスク評価グループ 課長 他1名

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級研究員 他3名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁は、大飯3／4号機及び玄海3／4号機のPRAモデルの適切性の確認の進捗状況等について説明し、原子力エネルギー協議会（ATENA）等と意見交換を行った。原子力規制庁は、PRAモデルの適切性の確認結果案を12月22日に開催予定の検査制度に関する意見交換会合にて提示する予定とした。

(2) 本年11月5日の面談に引き続き、九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）は、配布資料（1）及び（2）に基づき、玄海3／4号機レベル1PRAモ

デルの質問に対して回答を説明した。原子力規制庁は、回答において詳細な説明が必要なものについては、継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

- (1) 事業者PRAモデル（玄海3／4号機）の確認のための質問への回答（レベル1 PRA）（本年11月5日の面談における九州電力資料）

<https://www2.nsr.go.jp/data/000335136.pdf>

- (2) 事業者PRAモデル（玄海3／4号機）の確認のための質問（第二回目）への回答（レベル1 PRA）（本年11月5日の面談における九州電力資料）

<https://www2.nsr.go.jp/data/000335135.pdf>